Creative Enzymes®

ネイティブウサギホスホリラーゼキナーゼ

Cat. No. NATE-0559

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ホスホリラーゼキナーゼ（PhK）は、グリコーゲンからグルコース-1-リン酸を放出するためにグリコーゲンホスホリラーゼを活性化するセリン/スレオニン特異的プロテインキナーゼです。PhKは、2つのセリン残基でグリコーゲンホスホリラーゼをリン酸化し、より活性の高いグリコーゲンホスホリラーゼ「a」型を、活性の低いグリコーゲンホスホリラーゼb型よりも好む構造□化を引き起こします。
用途	ウサギの筋肉からのホスホリラーゼキナーゼは、グリコーゲンホスホリラーゼの特徴を評価する研究に使用されました。また、アクチンによる異なる形態の筋肉ホスホリラーゼキナーゼの活性化を調□する研究にも使用されました。
別名	ホスホリラーゼキナーゼ; 脱リン酸ホスホリラーゼキナーゼ; グリコーゲンホスホリラーゼキナーゼ; PHK; ホスホリラーゼbキナーゼ; ホスホリラーゼBキナーゼ; ホスホリラーゼキナーゼ（リン酸化）; STK17; EC 2.7.11.19; EC 2.7.1.38; 9001-88-1

製品情報

種	ウサギ
由来	ウサギの筋肉
形態	(NH4)2SO4、スクロース、β-グリセロホスフェートおよびジチオエリスリトールを含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.7.1.38
CAS登□番号	9001-88-1
活性	> 60 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、ATPの存在下でpH 7.7、30°Cで、ホスホリラーゼBからホスホリラーゼAの1.0 μモル単位を1分あたり形成します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C